

## 株式会社 松屋 2019年12月上報告

## 1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-1.3	-7.5
② 銀座店	-1.5	-11.1
③ 浅草店	1.1	-0.2

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。  
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

## 2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
銀座本店	-1.5	-1.4	4.9	2.0	2.2	-0.4	-1.3	-1.2	17.2	-20.1	-0.9	-1.3
松屋銀座	-1.2	-1.2	5.7	2.1	1.6	-0.2	-1.1	-0.6	18.4	-20.4	-0.8	-1.5
松屋浅草	-5.9	-5.7	-4.8	0.8	10.5	-1.9	-5.2	-8.8	-0.9	-15.0	-2.5	1.1

## 3. 店舗別商況

銀座店	銀座店の12月の売上高は、前年比1.5%減となりました。婦人衣料品全般において、ジャケット・ブラウス等の中・軽衣料が好調に推移するも、シーズンを代表するコートを中心とした高価格帯商材が苦戦、一方ではクリスマスオケーションにおいてルイ・ヴィトン等の海外ラグジュアリーブランドが力強く全体を牽引した一か月となりました。消費税率引上げ後の動向については、実需品となる化粧品の売上が前年ベースとなる等、回復基調にあります。免税売上高につきましても、ラグジュアリーブランドを中心とした一般品が前年に対して二桁伸ばし、消耗品を加えた全体の売上は11%増と前年を上回りました。しかしながら、曜日条件差異(休日2日減、その影響約3.8%程度)が影響し、銀座店の売上高は前年をやや下回りました。
浅草店	浅草店の12月の売上高は、前年比1.1%増となりました。主力となる食品において和菓子が好調に推移、また、婦人衣料品も堅調に付き、店全体の売上高は前年を上回りました。

## 4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	0.1	0.1
婦人服・洋品	-4.9	-5.0
子供服・洋品	-9.7	-9.7
呉服寝具他	31.8	6.5
衣料品計	-2.5	-3.6
身廻り品	1.4	1.4
雑貨	-1.8	-1.4
家具	0.6	0.3
家電	-12.2	-17.2
家庭用品	-8.3	-8.3
家庭用品計	-4.8	-5.3
食料品	-1.7	-1.4
食堂・喫茶	-1.4	-1.4
サービス、その他	-11.3	-11.8
合計	-1.3	-1.5

※「2020年1月上報告」は、2/3(月)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部コーポレートコミュニケーション課  
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639